

消防 鹿角

鹿角広域消防本部管内	
災害状況	
平成11年 7月31日現在	
火災件数	10件
（建物	6件）
（車両火災	1件）
（林野	1件）
（その他	2件）
死者	2名
負傷者	1名
救急件数	704件
（内高速道路	4件）
搬送人員	690名

第6号 平成11年 9月発行 (年3回発行)

編集：鹿角広域行政組合消防本部 秋田県消防協会 鹿角支部

(全国統一標語)

あぶないよ ひとりぼっちにした その火



(写真：平成11年7月2日 鹿角市立草木小学校4年生 社会科見学)

心をつなごう！地域防災

「防災の日」 9月1日

防災週間 8月30日～9月5日

広げよう！救命の輪

「救急の日」 9月9日

救急医療週間 9月5日～12日

台風シーズン到来!

大丈夫ですか? 風水害対策

日本では夏から秋にかけて台風が多く、強風や豪雨で地滑りや洪水などの被害が
 することがあります。台風にも備えて次のことに心掛けましょう。



風の強さと被害の目安

風速 (m/秒)	説明
10	傘がさせない。
15	看板やトタンが飛び始める。
20	小枝が折れ、風に向かって歩けない。
25	瓦などが飛び、戸外は危険な状態。
30	戸がはずれ、家が倒れることがある。
40~50	木が根こそぎになり甚大な被害。

1 強風・大雨に備えて

- ① 家の各所を点検し、被害をできるだけ小さくするために修理や補強をしておく。
- ② ニールガラス等は、ゴムテープやビニールテープを貼って補強し、両戸・シャッターなどがあれば閉める。
- ③ 庭、あるいはベランダに出しているごみ箱、鉢植え、置物などは固定するか家に取り入れ、強風に吹き飛ばされないようにする。
- ④ テレビアンテナ類は、そえ木、針金などで補強する。
- ⑤ 排水口や樋の中に溜っている泥、塵などを取り除き家の回りの排水をよくする。
- ⑥ 浸水の恐れがある家や低地では、家具、電気製品などをできるだけ高い所に移す。
- ⑦ 停電することがあるので、懐中電灯や携帯ラジオなどを家族全員が定めた所に置いておく。
- ⑧ 非常持ち出し品を揃え、出しやすい場所に置いておく。
- ⑨ 最寄りの避難場所、避難経路を確認する。各市町、消防署、土木事務所に避難場所の案内及び大雨によるがけ崩れや地滑りが起きる危険性のある地域を記した「危険箇所図」があるので自分が住んでいる地域が安全かどうかを必ず確認しておく。

2 台風が来たら

- ① 強風のときには外出しない。どうしても外出する際にはヘルメットか厚手の帽子をかぶる。
- ② 折れた電柱や垂れ下がった電線には近寄らない。
- ③ 気象情報に十分注意し、避難勧告が出れば速やかに避難をする。特にお年寄り、病人や乳幼児がいる家庭は早めになるガスの元栓を閉め、電源を切り、戸締まりを確認してから離れる。
- ④ 避難するときには、火事の元になるガスの元栓を閉め、電源を切り、戸締まりを確認してから離れる。
- ⑤ 荷物は必要最小限にとどめ、できるだけリュックなどで背負い両手をあけておく。
- ⑥ 正しい情報(テレビ、ラジオ、役所の広報など)を信じ、デマや噂に惑わされない。



社会科見学

平元小学校4年生(原文)

消防署の見学に行つて
 平元小学校 4年 兎沢 和

私たちは、学校で消防署のことを勉強したわけではないことがたくさんありましたが、それで消防署の見学にみんなで行きました。

最初は、消防車や救急車などの名前を覚えてもらいました。ポンプ車やはしこつき消防車などがありました。次に、消防署の中へ入りました。いろいろな部屋があつて、火事の時着る服もあつて、ベットや食卓や会議室もあつてびっくりしました。

消防署の人は、火事の時だけでなく、火事がおきないようにひなんくんれんのお手伝いをしたり、見回りをして火の用心をよびかけたりしていることがわかりました。

最後の質問で、「じしんなどで身動きが出来ない時火事があつたらどうするんですか?」と聞いたら

「かならずたすけに行きます。」
 と言っていたので消防署の人たちがいるととても安心します。消防署の人たち、これからも火事を消すのをがんばって下さい。私たちは、なるべく火事をおこさないようにします。

消防しよの見学

平元小学校 4年 千葉裕介



ぼくたちは、消防しよの見学の前にまず学校で消防しよのことをしらべました。火事の件数をしらべました。地図には、防火水そうがいくつあるかしらべました。寺坂には、防火水そうが4つありました。あと消防せんは、1つしかありませんでした。

7月7日は、消防しよの見学でした。消防しよには消防車が四台ありました。救急車が二台ありました。そのうち一台は、新しい救急車で点てきとかがいっぱいありました。消防しよの中に入ったら通信指令室などいっぱい部屋がありました。消防しよではたらいにいる人は、二十四時間ずつ交代するそうです。ベットも十二個ありました。

たいへんだなあと思いました。だから、消防しよの人にめいわくをかけないで、ぼくも火事をなくそうと思いました。

消防マメ知識

纏

(まとい)

江戸時代町火消しが、組の目印として用いたのが纏です。もともとは、戦国時代に戦場で敵味方の目印として用い、的率(まとい)あるいは馬印(うまじるし)と称していました。



江戸の華、い組の纏(歌川芳虎画)



救命率全国一推進事業
シンボルマーク

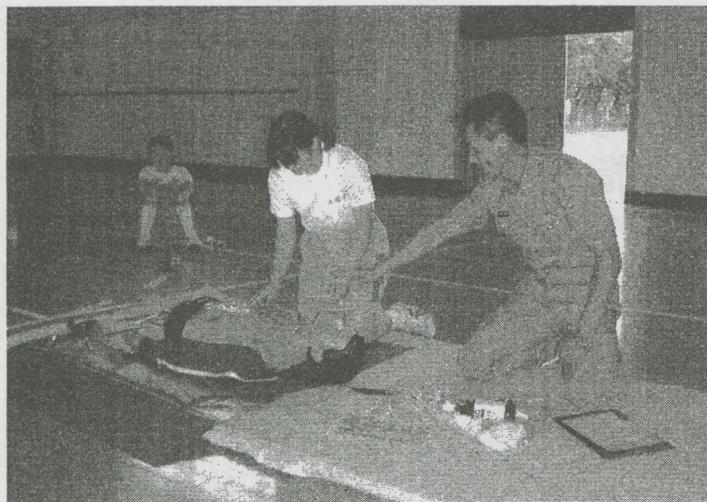
ひろがれ！救命の輪



救急車到着までのわずかな時間が生死を左右します。
その間に行う救命手当 **<心肺蘇生>**こそが
生還の第一歩です。

大切な命 私達のでてたすけます！

鹿角郡市内の中学生、高校生（2,000名）が救急講習会を実施し、
修了証を手にしてます。



<修了者の感想文> 紹介 (原文)

「勉強になった講習会」

小坂中学校 2年 石沢達也

今日の講習会では、大勢来てくれたのでびっく
りした。大げがをした時の止血法や呼吸をしてい
ない時の対応の仕方などをいろいろいていねいに
教えてくれたので分かりやすかった。
人工呼吸や心臓マッサージなどは、だいたいは
分かっていたけど細かい作業などはよく分からな
かったので教えられて普通救命講習修了証をも
らったのでこの経験を生かしてがんばりたい。
第一〇二七号と修了証に書いてあったので僕の
前に一〇二六人が合格していったんだらうなと
思った。そして一〇二六人の人に負けないよう
に人助けをしたいと思った。

「救命講習しゅう会で・・・」

小坂中学校 1年 松田さゆり

「ドキドキ・・・」次が自分の番だと思うと心臓
がバクバクです。「周囲の確認して、えっと声かけ
ていって・・・」頭の中で分かっているもいざ行
動に移すととなると、大変です。
「パチパチパチ・・・」次はいよいよ私です。分から
なくなり周りの人の顔を見て助けを求めてもだれも教
えてくれません。
たまたま、うまくいった心ぞうマッサージで「すこ
い」といわれたときは、少しきんちようがほぐれま
した。なんとかおわりました。まだ手と足がガクガク
ふるえています。しばらくしたら、他の人のをみてい
るあいだにきんちようはほぐれ、「もうちょっとスム
ーズにできればなあ・・・」と思うほどになりました。
人の命を助ける、つなぎとめる役わりを習ったのだ
と思うと、今日の講習しゅう会はムダにできないなあと思
いました。

受講者募集 (参加料無料)

救命手当普及推進 かつのフォーラム'99

主催：鹿角地方部救命手当普及推進協議会

1. 日 時 平成11年 9月14日(火) 午後1時～午後5時 (予定)
2. 場 所 鹿角広域交流センター
3. 内 容
 - 消防職員による寸劇 (ひろがれ救命の輪、伸ばそう勇気の手)
 - 応急手当講習会 (普通救命講習)
 - 体験事例発表とパネルディスカッション
 - 基調講演 鹿角市郡医師会 医師

◎普通救命講習会 (定期) を実施しています。お気軽に電話して下さい。
実施日時 ★消防署十和田分署 毎月第2土曜日 午後1時～午後4時
★消防署小坂分署 毎月第3日曜日 午後1時～午後4時

連載 ひと×モ

①豆などが入った

異物の入った方の耳を傾け、
片足で跳んでみる。
足で跳んでみる。
取れに放つておくこと膨張し
て取れにくくなることある。



②水が入った

まず左の①のように跳んでみる。
それでも出ないときは、こよりにした和紙や
綿棒を静かに耳に入れて、水を吸い取る。
ぬれたら取り替えて繰り返す。



③昆虫が入った

暗い所で懐中電灯の光を耳に近づけると、
虫が自分からはい出してくることがある。
またはオリーブ油かアルコールなどを耳
の中にたらしめて殺してから取る工夫をする。



⊗ ピンセットなどを使わない。かえって奥へ押し込んだり、鼓膜を破ったり、外耳を傷つけたりする。

「がんばっています！」消防団

「第36回秋田県消防操法大会」

去る7月4日、鹿角市役所駐車場において「鹿角支部消防訓練大会」が開催されました。

ポンプ車の部、小型ポンプの部で優勝した十和田錦木第1分団第1部、尾去沢第1分団第1部が、9月3日岩城町の秋田県消防学校で開催される「第36回秋田県消防操法大会」へ鹿角支部の代表として出場します。

出場選手は、以下のとおりです。

【ポンプ車の部】

十和田錦木第1分団第1部

指揮者 班長 沢田正春

1番員 団員 青山秀樹

2番員 班長 石川忠晴

3番員 班長 工藤勝康

4番員 団員 木村富男

【小型ポンプの部】

尾去沢第1分団第1部

指揮者 団員 前田幸栄

1番員 団員 赤坂大雄

2番員 団員 山口 隆

3番員 団員 佐藤義広



地域の安全を守る消防団 <団員募集>

鹿角市・小坂町の消防団は“自分たちの地域は自分たちで守る”という地域連帯の精神を基に、現在1,019名（鹿角市825名、小坂町194名）の団員が地域防災のために日々励んでおり、火災時の消火活動だけでなく地域防災の中核として活躍しております。

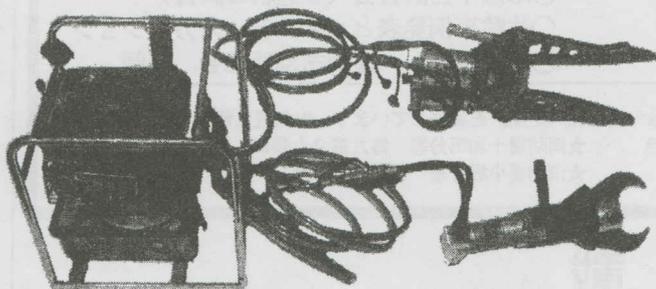
しかし消防団員はサラリーマン化が進んでおり、鹿角管内でも年々団員数が減少しております。災害時には地域に密着した団員の力が不可欠です。

みなさんの手で郷土愛に燃える消防団を作りあげましょう。



消防用機器の紹介

「油圧切断機」

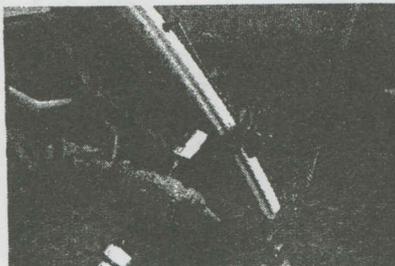


特 徴： 2系統のポンプを使用し、スプレッターとカッターを付け替えることなく使用可能。エンジンは、無鉛ガソリンだけで使用できる。

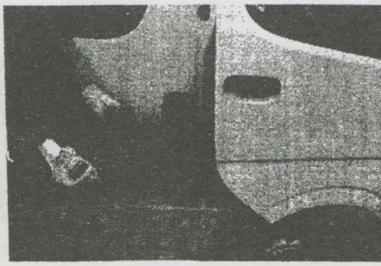
5mの高圧ホースが2対セットされているため大変使いやすい。

使用例： 交通事故などの載、ドアの切断や取り外し、ステアリングの引き上げ作業など幅広く使用できます。（写真参照）

使用例



フロントピラーの切断



ドアの取り外し

消防に関するお問い合わせ

消防本部・消防署	電話23-5601	FAX23-5605
十和田分署	電話35-2006	FAX35-2007
小坂分署	電話29-2119	FAX29-3731
八幡平分駐所	電話34-2229	